

研究協力をお願い

新座志木中央総合病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

脳動脈瘤の治療予後予測因子に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年12月から2040年3月までに、新座志木中央総合病院脳神経血管内治療科および脳神経外科にて診療を行われた脳動脈瘤の患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

1. 背景

脳動脈瘤は、頭頸部に生じる血管病変でも膜下出血などの原因となります。予防的治療として、内科的治療や侵襲的治療（開頭手術、脳血管内治療）が行われています。脳卒中治療ガイドライン2021[改訂2023]においてこれら侵襲的治療が未破裂未破裂に対して『妥当である』（治療を実施するチームが協議の上で、それぞれの症例に合わせて治療を決定する）、破裂脳動脈瘤に対して『勧められる』とされています。未破裂動脈瘤の積極的治療の選択に関して、開頭手術、血管内治療のどちらが一般的に優れているかという結論はできていません。血管内治療においてはFlow Diverter Stent（以下FD）、Woven EndoBridge デバイス（以下WEB）などの新たなデバイスによる治療が行われてきています。

2. 目的

脳動脈瘤の治療データを解析し、患者側因子や治療方法、治療内容などが治療成績に及ぼす影響について明らかにします。

3. 方法

当院で2021年12月以降に行った脳動脈瘤症例のデータを後ろ向きに解析します。収集するデータは、治療内容、患者背景、血液検査データ、画像データなど「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を検討します。本研究のための治療介入は行わないこととします。これら治療関連因子について統計学的解析を行い、機能予後や画像的变化等との関連性について検証します。

研究期間

2021年12月1日～2040年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究の対象とする資料は以下の通りです。

実施医名、年齢、性別、既往症、家族歴、生活歴（飲酒、喫煙）、アレルギーの有無、治療前の診察所見（症候および症状、神経学的所見など）、内服薬の内容、血圧、血液データ（血算、生化学、凝固系、血小板凝集能など）、脳動脈瘤の形態（個数、部位、大きさ、neck/dome比、blebなど）、頭部および頸部画像所見（血管造影、MRI、CT、単純X線写真、超音波検査、SPECTなど）、くも膜下出血の重症度（WFNS分類、Hunt and Kosnik分類、Fisher分類など）、治療日、治療血管、使用血管内治療システム、使用デバイス、手術記載内容、他院治療内容、当該病変以外の治療内容、手技に関するイベント、治療結果、追加治療を行った場合の概要、術後の脳卒中（有無と内容、治療との関係性）、術後の脳卒中以外のイベント（有無と内容、治療との関係性）、退院時および退院後の神経学的所見など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：新座志木中央総合病院 研究責任者：奥村浩隆

住所：埼玉県新座市東北1丁目7-2 電話番号：048-474-7211（病院代表）